

使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:26mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800～900mm以下
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番により接続した状態を示しています。
 折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

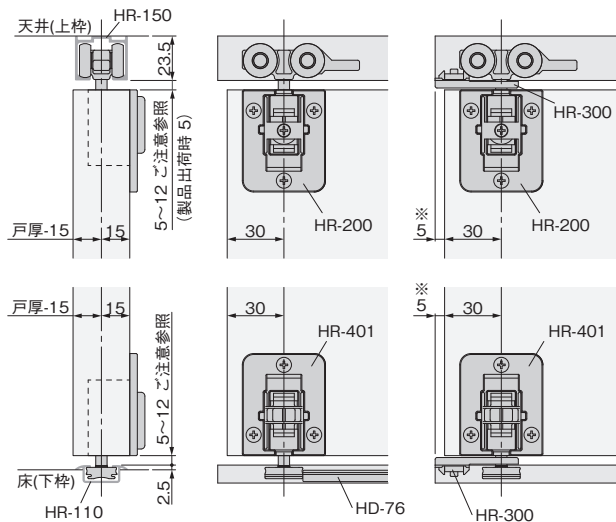
設計ガイド

■金具の納まり参考図

下部レールにHR-110を使用の場合

フリーオープンタイプ

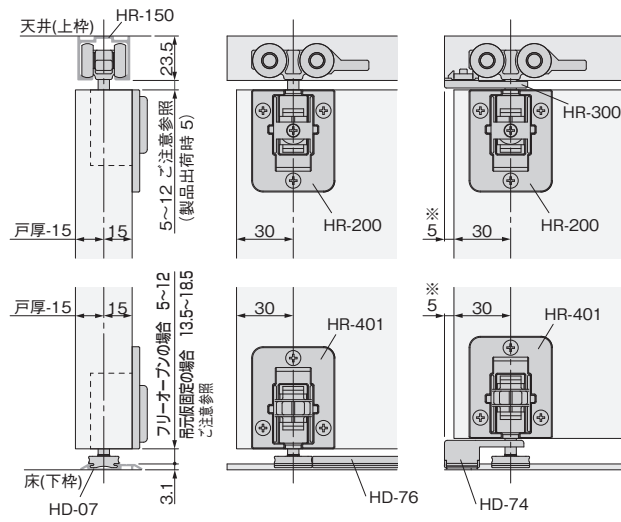
吊元仮固定タイプ



下部レールにHD-07を使用の場合

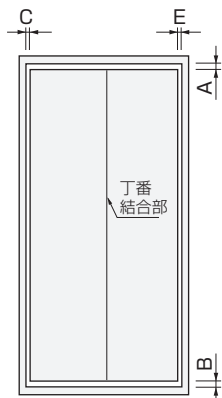
フリーオープンタイプ

吊元仮固定タイプ



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定にした場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～12

●下のすきま

B=下部レールと戸の間のすきま寸法

HR-110の場合=5～12

HD-07でフリーオープンの場合=5～12

HD-07で吊元仮固定の場合=13.5～18.5

●左右のすきま(折戸1組の場合)

C+E(フリーオープンで吊元仮固定キャッチを使用しない場合)

使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
26	3.0	2.6
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。

※以上の左右すきまは「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

※丁番結合部のすきまは0mmの設定です。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=10mm、HD-07で吊元仮固定の場合=18.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=24mm、HD-07で吊元仮固定の場合=30.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
 上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
 (ただし、HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合: 10mm<上下のすきま<24mm
 HD-07で吊元仮固定の場合: 18.5mm<上下のすきま<30.5mm)
 すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

C+E(吊元固定の場合)

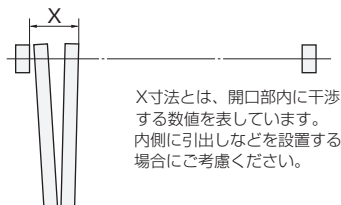
使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
26	7.2	6.9
30	7.5	7.2
33	7.7	7.4
35	9.0	8.6
40	12.4	12.0

CまたはEを吊元固定にした場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
26	5.0
30	5.0
33	5.0
35	6.1
40	9.1

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。
 内側に引出しなどを設置する場合にご確認ください。

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合

戸厚26～35mmの場合 X=戸厚+92mm

戸厚36～40mmの場合 X=戸厚×2+57mm

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合

戸厚26～33mmの場合 X=戸厚+134mm

戸厚34～40mmの場合 X=戸厚×2+101mm

●吊元仮固定タイプの場合

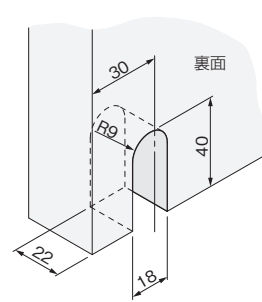
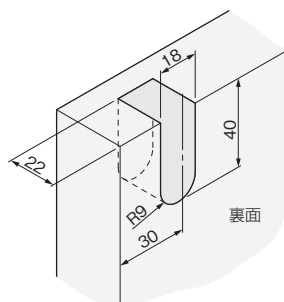
X=戸厚+100mm+吊元すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(HR-200)の取付け加工寸法

下部ガイド(HR-401)の取付け加工寸法



ドア錠

1

丁番

2

スライド

丁番

3

開き戸

金具

4

引戸錠

5

引戸

金具

6

上吊式

引戸金具

7

移動

間仕切

金具

8

折戸

金具

9

室内用

アルミ建具

10

取手・

引手

11

スライド

ワイヤー

バスケット

12

収納・

吊金具

13

その他の

家具金物

14

物干金具・

諸金具

15

真鍮

アンティーク

16

設計

施工

ガイド

会社案内